

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	スタジオそら祐天寺		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 1日	～	2024年 12月 2日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数)
○従業員評価実施期間	2024年 12月 1日	～	2024年 12月 30日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 31日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	子どもの年齢や特性・発達段階などの情報と、1回1回の療育から得られる情報を適切に分析し、個別支援計画の原案を作成しています。その後、保護者との面談を実施し、ご要望や生活上の課題等の聞き取りを行い、内容の同意を得た上で作成しております。	保護者とのコミュニケーションを増やし、子どもの理解をさらに深めるため、家・保育園・幼稚園等での様子について聞き取りを行います。それらの情報を療育プログラムに活かせるよう、より専門性の高い個別支援計画の作成に努めます。
2	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	清潔な空間作りを常に心掛け、毎日清掃を行っています。また、運動をする部屋と机上課題に取り組む部屋を分けたり、絵カードやイラスト、写真などを室内に貼り、子どもたちが活動しやすい室内の構造化(TEACCH)を行っています。	今後も清潔な空間を維持できるよう日々の清掃を継続して行います。また、感染症対策として消毒作業や換気等を必要に応じて行い、子どもたちや保護者が安心して過ごしていただける空間作りを行います。
3	事業所の支援に満足していますか。	朝礼や昼礼、終礼を毎日行い、スタッフ間で情報共有や療育の振り返り等を密に行っています。また、毎回の保護者へのフィードバックや定期的な面談の際に、可能な範囲で事業所外の子どもの様子について聞き取りを行い、療育のプログラムに取り入れています。	子育てに対するアドバイスがもっと欲しいという保護者からのご要望があったため、保護者が相談しやすい環境作りに取り組み、保護者に対する支援に積極的に取り組んでいきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	事業所が建物の2階にあり、階段しかないのが現状です。室内はバリアフリーとなっておりますが、通所の際は必ず階段の上り下りが必要となり、特に未就学の子どもは十分な配慮が必要と考えています。	未就学の子どもや、階段の上り下りが難しい子どもにおいては、スタッフが付き添い、階段での安全管理を行っています。また、ご兄弟がいらっしゃる場合や、お手荷物が多い場合もスタッフが同行しております。できる限り安心・安全にご利用いただけるよう今後も継続して行います。
2	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	子どもへの個別療育を中心に行っているため、家族支援プログラムは実施しておりません。また、「児童発達支援を利用している」という情報の拡散を防ぐため、保護者が顔を合わせる研修等も実施しておりません。	保護者からご相談があった場合、様々な情報提供を行っております。今後さらに相談しやすい環境を整え、子育てや子どもの発達に対するアドバイス、就学に関する情報提供など、保護者への支援も積極的に行ってまいります。
3	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	各種マニュアルはファイリングし、いつでもお読みいただけるよう待合室に常時設置してあります。	各種マニュアルに目を通していただきやすいよう設置方法を工夫し、更なる周知を図ります。

【公表】保護者等からの事業所評価の集計結果(児童発達支援)

事業所名		スタジオそら祐天寺				公表日		2025年3月1日	
		利用児童数		29名		回収数		21名	
						回収率		72.41%	
		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応	
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない			
環境・ 体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	18	3	0	0	・十分であると思います。 ・広いとは言えないが、良く工夫されていると思います。	各部屋やスペースの使い方を工夫しながら、安全に配慮した効率的な活動が実施できるよう努めてまいります。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	21	0	0	0	・十分だと思います。 ・子どもと先生が1対1なので安心です。	法令上の配置基準を満たしております。職員の欠勤がある際も対応できるよう、社内で連携しております。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	3	2	3	・事業所内はよいと思いますが、入り口の階段が急で、いつも気をつけています。 ・階段が急ですが、兄弟がいる際や荷物が多い際に先生方が必ず手伝って下さるのでいつも感謝しています。	事業所内の構造化に努めております。建物の構造上、バリアフリーではない箇所がございますので、何かお手伝いが必要な場合はお気軽にお声がけください。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	21	0	0	0	・常に綺麗でこどもも親も心地よく過ごさせております。 ・いつも綺麗にされてると思います。	引き続き、清潔で心地よく過ごせる環境を目指します。	
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19	1	0	1	・どの先生も特性をよく理解し、指導してくださってと思っています。 ・先生方がいつも笑顔で、一人一人に寄り添っていると感じます。	社内研修の充実を図り、より支援の質を向上できるよう努めてまいります。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	19	1	0	1	・合っており、満足しています。 ・こどもの特性にも合わせ支援方法を考えてくださっています。	HPにて支援プログラムを公表しております。お子さま一人ひとりに合わせた支援ができるよう努めてまいります。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	21	0	0	0	・保護者の意見を聞いて、すり合わせながら具体的に作成してくださっています。 ・子どもの要望や好きなことだけでなく、親の考える少し先の将来への要望まで考慮して、現在の支援を常日頃から考えてくださっています。	引き続き、保護者さま・お子さまのニーズを聞き取り、必要な支援ができるよう支援計画の立案を行います。	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18	1	0	2	・全てを考慮して設定されていると思います。 ・常に具体的に支援を考えて下さっています。	より良い支援ができるよう、お子さまに必要な支援内容について具体的に設定できるよう努めてまいります。	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21	0	0	0	・毎回しっかりと説明をしてくださり、計画に沿った支援を行ってくださっています。 ・具体的な説明(項目や数)を目標に示してくださり、着実に達成できています。	打ち合わせや振り返りを行い、より充実した支援ができるよう努めてまいります。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15	2	1	3	・様々なプログラムや、支援方法で工夫してくださっていると感じています。 ・前回できたこと、難しかったことを共有しながら進めていただけており、色々な先生に見ていただいているメリットを感じます。	引き続き、お子さまの状態にも寄り添いながら、目的や意図に応じてプログラム内容を検討・実施してまいります。	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	5	5	6	5	・交流はないですが、必要とも思いません。 ・今のところそのような機会の必要性は感じていません。	ニーズが少ないため事業所内での交流はございませんが、今後必要に応じて検討いたします。	
12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18	3	0	0	・丁寧に説明して頂きました。 ・説明や対応を丁寧にしていただきました。	引き続き、丁寧で分かりやすい説明に努めてまいります。		

保護者への説明等	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20	1	0	0	・計画書を示しながら説明してくださっています。 ・丁寧に分かりやすく説明していただきました。	引き続き、面談の際に丁寧な説明を心がけてまいります。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	4	5	5	・それらの機会はありませんが、不満もありません。 ・スタジオそらのアプリが提供されています。	プログラムとしてペアレントトレーニングは行っておりませんが、ご相談等ある場合には個別に対応しております。今後も、何かございましたらお気軽にご相談ください。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	18	2	1	0	・毎回お話しする時間があり、共通理解できていると思います。 ・子どもの体調や発達に合わせて支援していただいています。	フィードバックの時間を設けておりますが、それ以外でも何かございましたらお気軽にご相談ください。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16	3	2	0	・毎回きちんとフィードバックの時間をもうけてくださいます。その時にしてくださいませ。 ・場合によりメールにて相談させていただきます。相談時には丁寧に対応いただいています。	支援計画の更新に合わせ、定期的に面談を行っておりますが、それ以外でも何かご相談がある際など、お気軽にお声がけください。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19	1	0	1	・常に心温かく見守ってくださり、共感的に支援してくださっています。 ・子どもの育ちに対して悩みがあり、その事に丁寧に向き合ってください。	引き続き、ご家族やお子さまの状況に寄り添った支援ができるよう努めてまいります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされているか。	4	3	8	6	・保護者同士の交流や関わりはありません。 ・ありません。必要とも感じません。	ニーズが少ないため実施はございませんが、今後必要に応じて検討いたします。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14	3	0	4	・相談や質問をさせていただいたことには、いつも丁寧に回答いただいています。 ・説明があり、分かりやすい掲示物もあります。	お気軽に相談いただけるような環境を整えることを意識しております。お話しいただいた内容につきましては迅速かつ適切に対応できるよう努めてまいります。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21	0	0	0	・毎回きちんとフィードバックの時間を設けてくださいます。 ・フィードバックの際に、他の保護者とお部屋を分けるなどの配慮をいただいています。	今後も密接に連携が取れるよう、コミュニケーションを取ってまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	17	1	1	2	・毎月発信されています。 ・他のスタジオでの休日プログラムの記事などを読むのが楽しみです。	HPに「そら通信」を掲載し、事業所の活動紹介や、自己評価結果の発信を行っております。今後も周知に努めてまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18	1	1	1	・適切に管理していただいていると思います。 ・フィードバックの際は他の保護者と場所を分けていただき配慮を感じます。	引き続き、個人情報の取り扱いについて十分に留意してまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15	1	0	5	・掲示があります。 ・入退室時に玄関にいる人数を調整されて事故防止をしたりと実践もなされています。	各種マニュアルは待合室に備え付けてあります。また、避難訓練に加え、感染症や防犯なども職員間でコミュニケーション訓練を行っております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	19	1	0	1	・定期的に避難訓練が行われています。 ・避難訓練に参加しました。子どもが小さいため、怖がらないようしながらも状況の説明をしていただき貴重な体験となりました。	定期的に避難訓練を実施しております。会員の皆様にも参加のご協力をお願いいたします。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17	2	0	2	・十分行われていると思います。 ・玄関の鍵のルールが徹底されており、安全確保の一つであると思っています。	安全管理計画を策定し、社内研修を行っております。何かお知らせすべき事項がある際は、掲示やメール等で周知しております。引き続き、安全に留意し支援を行ってまいります。
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12	2	0	7	・約束の時間にこちらの都合で少し遅れた際に、心配して連絡をいただいた事があります。事故が発生した場合もすぐにご連絡くださると思っています。 ・まだそのような場面がないため分かりません。	事故対応について、マニュアルに定め社内周知しております。事故発生時には迅速かつ適切な対応に努めてまいります。

満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	20	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもにとって楽しく、安心できる場所だと認識していると思います。</li> <li>・先生方が大好きで、安心して通所しています。</li> </ul>	お子さまが安心して過ごせるよう努めてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	20	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつも楽しみにしています。</li> <li>・スタジオで行った事を家で再現するくらい、楽しんでいます。</li> </ul>	お子さまが楽しんで活動に参加できるよう努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	20	0	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつも丁寧に指導して下さい、親子共々寄り添った支援をいただいています。とても満足しています。</li> <li>・先生方がとても優しく、子どもに愛を持って接してくれていつも感謝しております。こちらに通わせて頂けていることをとても嬉しく思っています。</li> </ul>	今後とも事業所の運営・支援にご満足いただけることを目指し、スタッフ一同尽力してまいります。

## 【公表】事業所における自己評価(児童発達支援)

事業所名		スタジオそら祐天寺		公表日		2025年3月1日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	事前に打ち合わせを行い、最も効率的かつ効果的な活動を検討しております。	今後もスペースの有効活用を心掛けていきます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	予約に応じて配置人数の調整を行っています。	法令上の基準は満たしているため、今後も職員のスキルアップに努めてまいります。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	視覚補助を用いるなど事業所内の構造化に努めています。情報伝達についてもカードやハンドサイン等を活用し、配慮を行っております。	引き続き子どもたちが分かりやすくかつ過ごしやすい構造化された環境を目指し、適切な配慮を行ってまいります。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	毎日の清掃の他、毎月のクレンリネスチェックで点検を行っています。	引き続き環境整備に努めてまいります。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	プログラム内容やお子さまの状況に合わせて、適宜部屋を分けて使って活動しています。	引き続き環境整備に努めてまいります。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0	療育前の打ち合わせ時や終礼時に職員間でお子様情報を共有しています。必要に応じてスタジオ会議を開催し、ケース検討や研修に取り組んでいます。	引き続き、より良い支援ができるように努めてまいります。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	保護者評価を実施しています。頂いた評価やご意見を元に職員間で話し合い、改善につなげています。	職員全体で保護者ニーズを把握し、引き続き改善に向けて努めていきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	日々の朝礼・終礼やスタジオ会議等、職員間で話し合い、改善につなげています。	引き続き、より良い支援ができるように努めてまいります。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	6	第三者評価は行っておりません。	必要に応じて実施を検討いたします。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	全社員での研修や、社内研修、スタジオ内研修、また社内サイトやマニュアル等により、学びの機会を常に設けております。	引き続き社内研修や社外研修に積極的に参加し、学びの機会を確保してまいります。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	ガイドラインに基づき支援プログラムを作成し、HPにて公表しております。	引き続き、より良い支援ができるように努めてまいります。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	社内独自のアセスメントツールを用いて子どもの課題を分析しております。	引き続き、より良い支援ができるように努めてまいります。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	複数の職員でケース会議を行い、作成しております。	引き続き、より良い支援ができるように努めてまいります。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	支援計画に沿った活動を行うよう、研修や育成を行っております。	引き続き、より良い支援ができるように努めてまいります。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	社内独自のアセスメントツールの活用、他、日々の行動観察や保護者からの聞き取りをもとに行っております。	引き続き、より良い支援ができるように努めてまいります。	

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	ガイドラインに沿って、必要な支援や目標の設定を行っています。本人支援だけではなく、保護者や園・学校等に対しても必要に応じて対応しています。	引き続き、より良い支援ができるように努めてまいります。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	打ち合わせを行い、目標の達成状況を確認して方針を決めています。前回担当者との共有もを行い、話し合いながらプログラム内容を決めています。	引き続き、職員間で意見交換をしながら、プログラム立案が行えるようにしていきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	前回の内容なども振り返りながら、飽きないよう楽しく取り組める工夫をしています。	固定化が必要な内容については意図的に行い、お子さまが楽しく活動できるよう工夫してまいります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	基本は個別療育を中心に取り組んでいますが、本人やご家族の方からの要望に沿って、集団活動の目標を設定しています。	今後も必要に応じて適宜集団活動も提案し、計画に沿った支援ができるよう取り組んでいきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	朝礼・昼礼を行い、振り返りや注意事項などを共有しています。	今後も綿密な打ち合わせを実施し、支援に活かしてまいります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	終礼時に活動の報告、振り返り、保護者と話した内容などを共有しています。	今後も綿密な打ち合わせを実施し、支援に活かしてまいります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	支援手法や達成度が分かりやすいように留意しながら記録を取っています。	社内独自の手引き等を活用し、適宜記録の記入方法等を確認できるようにしてまいります。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	支援計画の更新時や、その他必要に応じて適宜モニタリングを実施しております。	より広く職員が参画できるよう、事前に計画を立ててモニタリングを実施していきます。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	児童発達支援管理責任者を中心にして参画しております。必要に応じて他の職員も参画できるよう調整をいたします。	内容については事業所内で共有を行います。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	必要に応じ、相談支援事業所や他事業所、通園通学先と連携を取っております。	内容については事業所内で共有を行います。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	4	保護者要望に応じて適宜連携を図っております。	より積極的な連携を図ります。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	4	保護者要望に応じて適宜連携を図っております。	より積極的な連携を図ります。
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	0	6	機会がありませんが、必要に応じて行います。	内容については事業所内で共有を行います。
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	6	ニーズが少ないため、事業所内での実施機会がありません。	今後必要に応じて、実施を検討いたします。
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	主にフィードバック時にご家庭・園での様子等を伺い、共通理解を持つよう努めております。	引き続き、密にコミュニケーションが取れるように努めてまいります。
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	6	家庭内の状況の聞き取りや、相談へのアドバイス等、個別に対応しております。また、HP等で情報発信も行ってまいります。	プログラムとしてのペアレントトレーニングは実施していないため、今後必要に応じて検討いたします。

保護者への説明等	32	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	契約時や変更時、または必要に応じて説明を行っています。	今後も丁寧な説明に努めます。
	33	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	作成時に聞き取りを行い、保護者や本人の要望や意向の確認を行っております。	今後も要望や意向の確認をしながら作成してまいります。
	34	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0	面談を行い、計画内容の説明・同意を行っております。	今後も丁寧な説明に努めます。
	35	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	保護者とのコミュにケーションを密に取り、相談しやすい関係性の構築に努めています。状況によっては面談の機会を設けています。	引き続き、保護者との信頼関係が構築できるように努めてまいります。
	36	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	6	ニーズが少ないため、実施機会がありません。	今後必要に応じて、実施を検討いたします。
	37	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	相談窓口を設置し、掲示の上周知をしています。契約時にもご説明をしております。	相談や申入れがあった場合は迅速かつ適切な対応に努めます。
	38	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0	HPに「そら通信」を掲載し、事業所の活動紹介や、自己評価結果の発信を行っております。	今後も情報発信の充実と周知に努めてまいります。
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	個人情報書類は鍵付きの書庫で管理しております。また、フィードバック等は他の保護者との距離をとり実施しております。	今後も個人情報が記載された書類の取り扱いや、フィードバック時の距離など、十分に留意いたします。
	40	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	絵カードや文字での提示など、理解度に合わせた提示の仕方を工夫しています。保護者の方とは日頃からコミュニケーションを取るよう心がけています。	引き続き、より良い支援ができるように努めてまいります。
	41	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	6	イベント等で地域のお店を利用するなど地域交流を図っています。HPやSNSで活動の紹介をするなど、地域や一般の方に向けても情報発信をしています。	今後も、地域に開かれた事業所運営ができるよう努めてまいります。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	各種マニュアルは待合室に備え付けてあります。また、避難訓練に加え、感染症や防犯なども職員間でシミュレーション訓練を行っております。	引き続き、訓練等の実施と内容の周知を行ってまいります。
	43	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	定期的に避難訓練やその他研修、マニュアルの読み合わせ等を行っております。	引き続き、訓練等の実施と内容の周知を行ってまいります。
	44	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	0	フェイスシートや発作時対応シートを提出いただき、毎年確認しています。	てんかん等の対応について職員間で周知できるようにしていきます。
	45	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	4	食事の提供はありませんが、アレルギーの有無・内容についてはフェイスシートに記入の上ご提出いただいております。	飲食のイベント等は、併せてアレルギーの有無を確認いたします。
	46	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	安全計画を策定し、計画に沿って社内で研修や訓練を行っております。	引き続き、安全に留意し支援を行ってまいります。
	47	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1	熱中症の注意喚起など、何かお知らせすべき事項がある際は、掲示やメール等で周知しております。	引き続き、内容の周知を図っていきます。
	48	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	日々の打ち合わせの中で共有・対応の検討を行っております。また、ヒヤリハット報告書を作成しております。	引き続き、安全に留意し支援を行ってまいります。

49	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	定期的に虐待防止研修を実施しています。また、必要に応じて児童相談所・子ども家庭支援センターやその他の関係機関と連携を図っております。	引き続き関係機関との連携を図りつつ、定期的に研修を実施してまいります。
50	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	1	職員に対し、内容周知のための研修を行っています。今年度対象児童は居りません。	今後必要な場合には十分に検討し、丁寧な説明を行うとともに身体拘束の適正化に努めます。